



令和元年(2019年)9月26日

埼玉県秩父市で豚コレラ感染の野生いのしし発見！

埼玉県秩父市で、9月20日に発見された死亡野生いのししで、豚コレラ陽性が確認されました。同県秩父市、小鹿野町の養豚場での豚コレラ発生との関連は不明ですが、東信地域への侵入リスクも高まっていると考えられます。引き続き農場への野生動物の侵入防止を図るとともに、出入りする車両や人等の消毒体制を確認するなど飼養衛生管理を徹底してください。消毒用に消石灰を配布しているところですが、消毒効果のほか野生動物忌避効果も期待できますので、**消石灰散布**も徹底してください。また、**異常豚**や**異常いのしし**の**早期発見・通報**をお願いします。

【豚コレラ及びアフリカ豚コレラの主な症状】

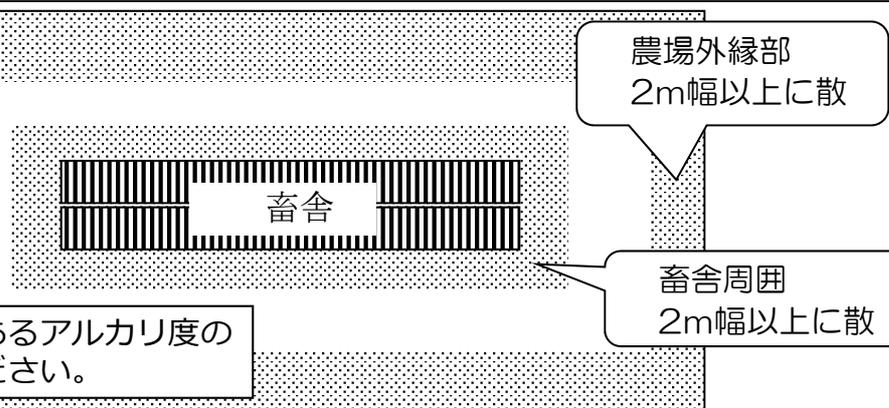
- ★耳翼、下腹部、四肢等の紫斑
- ★同一畜房内において一定期間（1週間程度）で以下のいずれかの症状が増加
 - ① 40℃以上の発熱、元気消失、食欲減退
 - ② 便秘、下痢
 - ③ 結膜炎（目やに）
 - ④ 歩行困難、後躯麻痺、けいれん
 - ⑤ 削瘦、被毛粗剛、発育不良
 - ⑥ 流死産等の異常産の発生
 - ⑦ 血液凝固不全に起因した皮下出血、皮膚紅斑、天然口からの出血、血便
- ★同一畜舎内において、一定期間で複数の繁殖豚又は肥育豚が突然死亡

消石灰消毒方法

消石灰※
散布量の目安
0.5~1.0kg/m²

※消石灰は、消毒効果のあるアルカリ度の高いものを使用してください。

※ 消石灰は、皮膚や目を痛める場合がありますので、散布の際は、消石灰が目につかないよう、手袋を使用し、風向きに注意してください。
農場車両出入口にも消石灰帯（幅4m）を設けましょう。



異常の連絡は佐久家保 Tel **0267-62-4123** へ！（夜間・休日も）